



Institute of Labor Education & Culture

通信 No.49

2018年1月15日

編集・発行：公益社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：木村裕士専務理事

新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。

旧年中、皆様方には（公社）教育文化協会に対するご支援・ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。また、本年が皆様方にとってさらに良い年となりますよう祈念いたします。

昨年は、10月22日に衆議院議員総選挙が行われ、自公が3分の2を超える議席を獲得し、第4次安倍内閣が発足しました。選挙によって、働き方改革関連法案に関する審議は先送りされましたが、長時間労働や過労死・過労自殺、雇用形態による待遇格差など、働く者を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。雇用・労働の劣化と貧困・格差の拡大を直ちに食い止めるべく、今こそすべての働く者が連帯し、連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた具体的な取り組みを進めていくことが重要です。

当協会は本年も、働くことやワークルールについて社会全体が理解・共有できる「労働文化」づくりに努めていきます。

具体的には、若者に対する労働教育を目的として、19大学で開講している「連合寄付講座」の内容充実をはかります。当協会が運営する5大学（同志社大学・一橋大学・埼玉大学・法政大学・中央大学）の連合寄付講座に加えて、14の地方連合会が運営する各大学の地方連合会寄付講座でも、それぞれの地域の特色を活かした工夫ある講義が行われています。今後は、その取り組みの裾野をさらに広げられるよう、講座開設を検討・希望している地方連合会からの要請にしっかりと応えていきます。

2001年に開講した「R e n g o アカデミー・マスターコース」につきましては、第16回までに387名が受講しています。プログラムの一層の充実をはかるとともに、受講生・修了生同士のネットワークを強化し、連合運動の次代を担うリーダーの育成に努めていきます。

あわせて、「幸せさがし文化展」や「私の提言」などの文化事業につきましても、より多くの方々から広く応募いただけるよう、連合やその構成組織、関係団体などと連携をはかり、積極的に展開していきます。

さらに、公益社団法人として、公益目的事業を展開していることから、会員のみならずより多くの皆様にご参加いただけるよう、発信力を高めていきたいと考えています。

当協会は引き続き、社会の共感を呼び、共に学びあえる事業を推進してまいります。皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

Rengoアカデミー第17回マスターコース開講

～22名の受講生が集まり、約1年におよぶプログラムがスタート～

Rengoアカデミー第17回マスターコース（校長：神津里季生連合会長）が2017年11月19日（日）に開講し、MELONDIAあざみ野で開講式を行いました。当日は、受講生22名（男性18名、女性4名）が参加しました。

主催者を代表して南雲弘行理事長より、「組合リーダーとして必要な知識を身につけるとともに、異なる組織から派遣されている者同士で積極的に議論し、交流を深めて欲しい」との挨拶がありました。

つづいて、神津里季生Rengoアカデミー校長、中村圭介教務委員長（法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授）から、受講生に対する激励のメッセージが送られました。

最後に、連合岐阜の石原宏基さんから、受講生を代表して決意表明が行われました。



開講式の後、5泊6日の前期合宿がスタートしました。受講生は、幅広い領域・分野の講義（下表①）を受けるとともに、グループワークを通じて活発な意見交換を行いました。

講義後は5つのゼミナール（下表②）に分かれ、修了論文作成に向けて夜遅くまで熱心に議論を交わしました。

受講生は今後、必修ゼミで自身の課題認識を掘り下げ、後期合宿（2018年5月13日～18日）で修了論文の構想について発表する予定です。

7月の修了論文提出・9月の修了式まで約1年にわたるプログラムとなりますが、派遣いただいている各組織におかれましては、受講生への温かいご協力・ご支援をお願いいたします。



▲受講の心構えを話す神津校長



▲激励する中村教務委員長



▲講義で熱弁をふるう高木副校長



▲ゼミごとに発表する受講生

①Rengoアカデミー第17回マスターコース・前期合宿の内容

講義日	科目	講師氏名
11.19(日)	連合の役割・行動I —連合運動における自らの役割	神津里季生 連合会長 中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長
11.20(月)	アサーティブ・トレーニング 歴史からみた労働組合の役割 論文のまとめ方	森田 汐生 アサーティブ・ジャパン代表 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
11.21(火)	「安心社会」への戦略を考える 労働者自主福祉の課題	宮本 太郎 中央大学教授 栗岡 勝也 中央労協事務局次長 宮本 成幸 全労済組織推進部担当部長 小川 俊明 労金協会営業企画部次席調査役 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
11.22(水)	現代日本経済論 労働法の基礎	宮崎 徹 早稲田大学講師 浜村 彰 法政大学教授
11.23(木)	グローバル化と労使関係 ジェンダーと労働	田端 博邦 東京大学名誉教授 神尾真知子 日本大学教授
11.24(金)	人材活用と人事管理の課題 労使コミュニケーションと 組合リーダー	橋元 秀一 國學院大学教授 呉 学殊 JILPT主任研究員 大園 敦 アルプス技研労働組合委員長 長南 博隆 通建連合副議長 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長

②ゼミナールの内容

	担当教員・テーマ
禹ゼミ	禹 宗杭 埼玉大学教授 グローバル化と日本の労働組合
木本ゼミ	木本 喜美子 一橋大学名誉教授 少子高齢社会のなかの人間と労働組合
毛塚ゼミ	毛塚 勝利 法政大学大学院 連帯社会インスティテュート客員教授 労働法と労働組合
高木ゼミ	高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長 経済・産業と労働組合
橋元ゼミ	橋元 秀一 國學院大学教授 企業・職場と労働組合

第12回「労働法講座」(基礎コース)を開催

2017年10月30日(月)～31日(火)、連合会館において第12回「労働法講座」(基礎コース)を開催し、連合構成組織・地方連合会などから52名が参加しました。

初日は、冒頭に木村裕士教育文化協会専務理事が開会の挨拶を述べた後、野川忍明治大学法科大学院教授から労働法の必要性・役割と全体像、労働基準法、労働契約法などについて講義をしていただきました。

2日目は森戸英幸慶應義塾大学法科大学院教授から労働組合法、男女雇用機会均等法、労働者派遣法などを講義いただき、その後、駒井卓連合中央アドバイザーから労働相談の現場でどのように労働法を活用するかについて具体的な事例を交えながらご説明いただきました。最後に、村上陽子連合総合労働局長が連合の雇用・労働法制の取り組みを法律制定・改正のプロセスにも触れながら紹介しました。

今年も労働法講座(基礎コース)を開講する予定ですので、皆さんの参加をお待ちしています。



▲木村専務理事より開会挨拶



▲野川教授



▲森戸教授



▲駒井アドバイザー



▲村上総合労働局長



▲内田副事務局長より開会挨拶

受講者アンケートより

- ◇具体的な事例や判例などにも触れながら説明していただいたので、よく理解できた。
- ◇労働法の重要性、連合の取り組みの重要性をそれぞれ理解できた。
- ◇労働組合の意義や責任を改めて理解することができた。
- ◇これからの組合活動に活かせる内容だった。
- ◇来年以降も新任役員に受講してもらいたいと思える内容だった。

「ワークルール検定2017・秋(初級)」を実施

ワークルールに関する知識を身に付けたいという社会的なニーズの高まりを受け、労働法に関わる一般的な知識の理解度について検定を行う「ワークルール検定」が、(一社)日本ワークルール検定協会の主催(厚生労働省・日本生産性本部が後援)で実施されています。

実施地	会場
北海道	札幌 かでる2・7
	室蘭 室蘭市市民会館
宮城	ハーネル仙台
茨城	茨城県労働福祉会館
栃木	栃木県教育会館
東京	連合会館
石川	労済会館
三重	ホテルグリーンパーク津
滋賀	コラボしが21
和歌山	和歌山県勤労福祉会館(プラザホープ)
鳥取	白兔会館
香川	サンポートホール高松
長崎	長崎大学経済学部
熊本	九州ろうきん 熊本駅前支店



▲検定前のワークルール講習(60分)の様子

教育文化協会は、連合や中央労福協などと

ともに、本検定の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでいます。

2017年は、6月に続き11月23日(勤労感謝の日)に初級検定を全国14カ所で実施し、777名が受検して内413名が合格しました(実施地は表の通り)。

次回の検定は、2018年6月10日(日)に初級と中級を実施する予定です。詳しくは下記ホームページをご覧ください(2018年3月上旬掲載予定)。

(URL) <http://workrule-kentei.jp/>

第10回 連合・ILEC 幸せさがし文化展

～働く仲間とその家族の公募展～

～入賞作品の展覧会を開催～

「連合・ILEC 幸せさがし文化展」は、働く仲間とその家族の文化活動の支援を目的に、絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門の公募展として開催しています。

第10回となる今回は、絵画の部に118点、写真の部に516点、書道の部に189点、俳句の部に863点、川柳の部に2329点、総数で4015点の応募をいただきました。厳正な審査の末、各部門の入賞者を決定し、2017年10月5日の第15回連合定期大会で表彰式を行いました。また、入賞作品の展覧会を下記の日程で開催し、延べ約300名の方にご来場をいただきました。

第11回は、2019年に実施の予定です。次回も皆様からのたくさんの応募をお待ちしております。(全入賞作品は、ILECホームページでご覧いただけます。)



入賞作品集：頒布価格1000円＋税
※お申し込み、お問い合わせは教育文化協会まで

日程	2017年10月4日(水)～5日(木) (第15回連合定期大会)
場所	東京国際フォーラム・ホールA 1階ロビー
日程	2017年11月6日(月)～12日(日)
場所	NHKふれあいホールギャラリー

理事の交代等

(敬称略)

〈理事〉 (旧)	(新)
逢見 直人 連合前事務局長	→ 相原 康伸 連合事務局長 (2017年11月15日付)
田中 浩二 自治労前総合企画総務局長	→ 船山 整 自治労総合企画総務局長 (同上)
郡司 典好 自動車総連前事務局長	→ 金子 晃浩 自動車総連事務局長 (同上)
川野 英樹 JAM副書記長	→ 椎木 盛夫 JAM副書記長 (同上)
操谷 孝一 基幹労連前副委員長	→ 和田口具視 基幹労連副委員長 (同上)
阿部田克美 全労済前常務執行役員	→ 濱田 毅司 全労済常務執行役員 (同上)
菅家 功 連合総研前専務理事	→ 新谷 信幸 連合総研専務理事 (2018年1月12日付)

あわせて、2017年12月12日付をもって、副理事長に相原康伸連合事務局長が就任しました

【着任者からのご挨拶】

2017年10月23日より教育文化協会に着任した清原と申します。着任し、改めて教育文化協会が行っている事業の幅の広さ、そして質の高さを日々感じております。微力ではございますが、協会の各種取り組みに貢献できるよう努力して参ります。ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

編集後記

自分の人生を振り返ると、「あの時、ワークルールや連合相談ダイヤルのことを知っていたら。」と悔やまれる出来事がいくつかあります。事務局として連合寄付講座を聴いていると、十数年前の不勉強な自分を思い出し、学生の皆さんがさらに頼もしく見えます。(こん太)